

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	高度情報通信福祉事業	事業開始年度	平成14年度	作成責任者		
担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部	担当課室	企画課自立支援振興室	矢田宏人		
会計区分	一般会計	上位政策	障害者の自立支援等に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算事業	関係する計画、通知等	重点施策実施5カ年計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者が必要とする情報をインターネット等を活用して提供すると共に、これらの情報を利用するために必要な情報通信機器の使用方法を指導するパソコンボランティアの指導者の養成を行うことにより、障害者の情報通信技術の利用・活用の機会の拡大を図り障害者の情報バリアフリーを一層促進するものである。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	実施主体である団体(3団体)が行う視覚障害者用図書情報ネットワーク事業、点字ニュース即時提供事業に要する経費に委託費を交付している。					
実施状況	①視覚障害者用図書情報ネットワーク事業 ②点字ニュース即時提供事業(利用状況:1,207,423件) ③障害者情報ネットワーク等運営事業 ④パソコンボランティア指導者養成事業					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	129	200	1,550	171	171
	執行額	129	200	1,550		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	129	205	1,550		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	当該委託費は、団体毎に交付決定・交付額の確定を行っており、事業毎に適正に執行されている。				
	見直しの余地	○平成14年度に策定された障害者基本計画に基づく「重点施策実施5カ年計画」において、障害特性に応じた情報提供の充実を図ることが基本方針として掲げられており、視覚障害者用図書情報ネットワーク運営事業等の利用の促進等について個別に明記されていることから、当該委託事業は、障害者の情報バリアフリーの促進、また基本方針の実現に必要である。また、平成21年度補正事業においては、障害者権利条約の批准等に向けた対応として視聴覚障害者へ多様な媒体により情報提供が可能となるよう情報提供設備の基盤整備を実施しているところ。 ○また、内閣府に設置されている「障がい者制度改革推進会議」において、本年1月から検討が開始された新たな総合的な制度についての検討状況を踏まえつつ、必要な対応を行うこととしている。				
予算監視の所見率化	本事業の必要性や執行の観点からも適切であり、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記	○21年度は補正事業により単年度事業5事業1,354百万があり。					

(20年度実績の例)

厚生労働省
200百万円

【補助(委託)】

障害者の情報通信技術の利用・活用の機会をの拡大を図る事業に対して補助

A.(福)日本点字図書館
41百万円

B.(福)日本盲人会連
合
40百万円

C.(財)日本障害者リハビリ
テーション協会
119百万円

視覚障害者用図書情報
ネットワーク運営事業

点字ニュース即時提供事業

・障害者情報ネットワーク運営事業
・パソコンボランティア指導者養成事業

【随意契約】

ソフトウェア開発
業者(株式会社)
22百万円

【随意契約】

・サーバ運用・サイト開発業者
(株式会社) 9百万円
・ソフトウェア開発業者(有限会
社) 3百万円
・サイト開発業者4者
a.1百万円(特非)
b.1百万円(株式会社)
c.0.3百万円(株式会社)
d.0.3百万円(株式会社)
・字幕製作団体 1百万円

ネットワークシステム保守

サーバ運用、サイト開発、
字幕製作等

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

(注)計数は各欄で端数処理(四捨五入)している。

A.(福)日本点字図書館					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業部門	14			
委託料	ソフトウェア開発業者 ネットワークシステム保守	22			
賃金	賃金職員	3			
消耗品費	セキュリティソフト等	1			
その他	通信運搬、雑役務費	1			
計		41	計		
B.(福)日本盲人会連合					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業部門	22			
借料及び損料	システムリース	10			
通信運搬費	ネットワーク通信料、電話料等	4			
賃金	賃金職員	2			
その他	消耗品、機器保守、修理等	2			
計		40	計		0
C.(財)日本障害者リハビリテーション協会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業部門	44			
賃金	賃金職員	25			
委託料	サーバ運用・サイト開発業者等 サーバ運用、サイト開発、字幕製作等	15			
消耗品費	コピー用紙、文具等	4			
借料及び損料	事務機器リース、パソコンリース、 研修会会場借料等	4			
印刷製本費	研修会テキスト等	3			
通信運搬費	回線使用料、電話、郵送料	4			
雑役務費	データ入力、サーバーメンテナ ンス等	8			
諸謝金	講師謝金等	4			
旅費	講師旅費等	6			
その他	備品購入等	2			
計		119	計		0
H.					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)